

重点目標	具体的取組	主担当	現 状	評価観点	実現状況の達成度判断基準	判定基準	備 考
1 基本的な生活習慣を身につけ、自己の研鑽に努め、信仰の薫育、奉仕の精神を養うとともに「公德心」を育成する。	① 合掌と賛歌、瞑想の朝礼礼拝を行い、一日の学びの始まりに心を落ち着かせ、自分を見つめる。朝礼時の担任から生徒への語りかけは薫習の場とする。	宗教科 学協会 総務	生徒の聞く姿勢に目を配り、何を語りかけるか準備をする先生方が多く見られる。先生方の個性と信頼が結びつき、新しい人間性が育まれている。	【努力指標】 心を落ち付かせ素直に自分を見つめる時間とし担任の言葉が生徒に届くものとなっているか。	SHが「自分自身を見つめる」時間となっている A よくあてはまる B まあまああてはまる C あまりあてはまらない D あてはまらない	C・D評価が10%以上 においては内容を検討する。	生徒に対してアンケートを実施する。
	② 宗教の授業や宗教行事(花まつり、報恩講)を通じて自己の内面を省みる。	宗教科	宗教の授業や宗教行事を通して学んだことは、宗教文集「預流」にまとめられている。	【努力指標】 授業や宗教行事での学びは、自分を見つめる時間となっているか。	自分の内面を省みて生き方を考える時間となった A よくあてはまる B まあまああてはまる C あまりあてはまらない D あてはまらない	C・D評価が15%以上 において内容を検討する。	心の教育に資する。 生徒に対してアンケートを実施する。
	③ 本校の根幹である宗教教育についての認識を深める研修の機会を持つ。	宗教科 第1学年	一年生は東本願寺にて1泊2日の宿泊研修を10月に行い「本当に生きる」とは何かを学んでいる。	【努力指標】 講話をはじめ研修が有意義と感じたか。	宗教教育の認識を深める有意義な研修となった A よくあてはまる B まあまああてはまる C あまりあてはまらない D あてはまらない	C・D評価が15%以上 において内容を検討する。	心の教育に資する。 生徒に対してアンケートを実施する。
	④ 基本的な生活習慣の定着を目指し、生徒の心に届くよう、我々教師集団も率先垂範を心掛ける。自己肯定感を養い、生徒の心に火をつける指導を目指す。	総務 教務 生徒指導	高校教育は社会性を身に付ける最後の時期と捉え、様々な教育活動を通して、心や人間関係づくりに励み、規範意識や基本的な生活習慣を求めている。	【成果指標】 具体的に項目をあげ学校生活を主体的に取り組んでいると自己評価できるか。	基本的な生活習慣が定着していますか A 十分に定着し取り組んでいる B まあまあ定着し取り組んでいる C あまり定着せず取り組めていない D 取り組めていない	C・D評価が15%以上 で指導体制を強化する。	生徒に対してアンケートを実施する。
	⑤ 清掃は共に学ぶ場への確認であり、場への尊敬である。「掃除は自分たちの生活の答案である」と伝え、奉仕と思いやりの心を育む。	総務(管理) 生徒会 生徒指導	見返りを求めず仲間とともに環境清掃に励む姿を見る。 新たな10年に向け、校舎をより丁寧に使う習慣と「奉仕のころ」を育む教育を大切にしたい。	【成果指標】 一人ひとりの生徒が気持ちよく清掃(奉仕)活動に向きあえたか。	清掃活動を振りかえりどう思いますか A 綺麗に行き届いている B まあまあ行き届いている C あまり行き届いていない D 行き届いていない	C・D判定が25%以上 において内容を検討する。	生徒に対してアンケートを実施する。
	⑥ 幅広い読書を意欲的に行うことで、思考と情操を深め、自らの人格形成に生かす生徒の育成を図る。	図書館 総務	読書を通して主体的な学びに結びついたと、生徒の声が得られた。 読書の啓発指導が活かされているように思う。	【努力指標】 教養、感性、価値観を身に付ける為には不可欠であり、定着しているかどうか。	読書に親しむ習慣は増えましたか A とても増えた B まあまあ増えた C 変わらない D 習慣はない	D判定は意欲を促進 する内容を検討する。	生徒に対してアンケートを実施する。

重点目標	具体的取組	主担当	現状	評価観点	実現状況の達成度判断基準	判定基準	備考
2 各科・コースでの目標にそった「学びの保障」を目指し、指導力の向上に努め、生徒一人ひとりの進路実現に対する個別指導を重視し学習意欲の涵養に努める。	① 各教科において、興味、関心、意欲を引き出す授業の確立に向けて、教材の精選と指導法の工夫改善に努める。	教務(研修) 教科	興味、関心、意欲を持たせる授業を目指し、教師間の相互理解を深め、授業互見や研究授業を行っている。また、オンライン研修なども活用し研鑽に励んでいる。	【努力指標】 授業は分かりやすく工夫されているか。	授業の工夫を実感している生徒の割合 A よく工夫されている B まあまあ工夫されている C あまり工夫されていない D 工夫されていない	C・D評価が25%以上 において教務課を中心に改善策を検討する。	生徒に対してアンケートを実施する。
	② 生徒達への「学びの保障」の実現に向け、指導力の充実に目指し自己研鑽に励む。	教務 教科	先生方はそれぞれの専門性を高めるために自己学習に努め同僚と学び合い、協働しながら自らの動機づけに繋げている。	【努力指標】 指導力向上を目指し自己研鑽に努めたか。	指導力向上を目指し自己研鑽に励んだ A よくあてはまる B まあまああてはまる C あまりあてはまらない D あてはまらない	C・D評価が25%以上 において教務課を中心に改善策を検討する。	先生方に対してアンケートを実施する。
	③ 普通科のビジネス、進学、特進の各コースと体育科の特色あるカリキュラムをより顕在化するように研究と指導に励む。	各コース 体育科 教科	各コース、科において、級・資格検定の合格率、取得率が高くなり生徒達のモチベーションに繋がっている。放課後に教えを求める姿が多く見られる。	【満足度指数】 各科・コースの特色ある指導に、学習習慣が身につく、各種検定資格など取得できたか。	生徒の取り組みについての自己評価 A 意欲的に取り組めた B まあまあ取り組めた C あまり取り組めなかった D 取り組めなかった	C・D評価が25%以上 において内容を検討する。	生徒に対してアンケートを実施する。
	④ 各学年において、一貫したキャリア教育を通して、職業観や勤労意欲の育成に努め、よりよい進路選択の一助とする。	進学 就職	進路ガイダンス(進学・就職)や大学・企業見学又は実習を行っている。また、選考に向けての指導も確立され、生徒達の希望に添える結果が得られている。	【努力指標】 各学年で実施されたキャリア教育において、生徒自身が、有意義なものと感じているか。	実施された進路指導(進学・就職)が A とても役立った B まあまあ役立った C あまり役立たなかった D 分からない	C・D評価が25%以上 において内容を検討する。	生徒に対してアンケートを実施する。
	⑤ 「総合的な探究」の時間を活用し、各コース、科でのガイダンスやホーム担任との面談が、進路実現に向けて意識を高めている。	教務 進学 就職	キャリア教育を推進し、進路意識の高揚を図り、学習意欲向上につなげている。また、具体的学習方法や実践的アドバイスなどを両指導部と学年団との連携を図る。	【努力指標】 担任との面談が自分の進路目標設定や進路実現に有効であると考えている。	進路指導において担任との面談が A とても役立った B まあまあ役立った C あまり役立たなかった D 分からない	D評価が25%以上 において内容、指導方法を検討する。	生徒に対してアンケートを実施する。

重点目標	具体的取組	主担当	現 状	評 価 観 点	実現状況の達成度判断基準	判定基準	備 考
3 地域に根ざした学校であることを認識し、生徒・保護者・教職員そして地域の方々の四者が敬愛と信義の念を持ち、連帯感を大切にする。	① 「花見まつり」や「宗教・公開講座」を開催し、地域の方々との交流を通じ、本校との連帯感を深める。	総 務 保健体育 生徒会 PTA	地域の方々の本校に対する要望や期待感がうかがえる。 また、浄土真宗の教えに学びの場を求められる声が多い。	【成果指標】 地域の方々に本校の教育活動に理解を得られているか。	本校の教育活動が地域に A よく理解していただいている B まあまあ理解していただいている C あまり理解していただけない D 理解していただいていない	C・D評価が25%以上 において内容を検討 する。	宗教講座に参加 された方々や PTA役員への アンケートを実施 する。
	② 登下校時、通学路として利用している学校周辺道路を、全校生徒で清掃活動を実施し、行政企画の「わが町美化ピカ隊」への参加とする。	総 務(管理) 全学年 (PTA)	5月に実施している遠足に、近隣の通学路の清掃する。また各部活動で奉仕活動の様子が見られる。共生する地域への思いに気づき、「奉仕の芽」が育まれている。	【努力指標】 地域共生と環境美化の こころを育み、主体性を 持って取り組めたか。	校外奉仕活動に対する自己評価は A 積極的に取り組めた B まあまあ取り組めた C あまり取り組めなかった D 取り組めなかった	C・D評価が30%以上 において内容を検討 する。	生徒に対して アンケートを実施 する。
	③ 交通安全対策を積極的に推進するとともに、交通マナー向上に努める。また蛍光タスキを配り夜間の安全を確保するとともに 両具の携行を義務づけている。	生徒指導 生徒会	生徒達の意識調査では交通マナーの意識は高い。しかし生活の慣れから、マナー、モラルを見失いがちである。生徒の現状を見極め先見の注意喚起を大切にする。	【成果指標】 交通規則を遵守し、 マナー、モラルを心掛けて いるか。	交通マナー、モラルにおける自己評価は A きちんとできている B まあまあできている C あまりできていない D できていない	C・D判定が10%以上 で指導体制を強化す る。	生徒に対して アンケートを実施 する。
	④ 危機管理意識を高め、事故防止と発生時の救急対応に万全を期す。また、頻発する自然災害に対し、防災教育を見直していきたい。「三大訓練の実施」	総 務 保健体育 生徒指導	非常時の対応や避難行動を学ぶ良い機会となっている。事前、事後指導があつての訓練であり、反省を踏まえて、マニュアルの再点検や新たな試みを計画してみたい。	【成果指標】 不慮の事故防止のた めの研修・実施訓練 を行っている。	危機管理に関する校内教員研修・訓練を A 年間3回以上行った B 年間2回行った C 年間1回行った D 行わなかった	C・Dにおいては日程 ・内容を検討する。	危機管理として 防災訓練を6月 ・11月、AED講 習を5月に予定。
	⑤ 保護者が本校の教育活動に参加する機会を増やすことで、 生徒の様子を直にご覧いただき 保護者との連携・支援を図る。	総 務 生徒会	コロナ禍も収まり、PTA総会、授業参観も計画している。PTA活動計画を見直し、新たな参画への転換期と捉えられている。	【成果指標】 保護者が学校行事に 参加して頂くことで、教 職員との連携を深め、 教育活動に繋げる。	本校の教育活動を A よく理解することができた B ある程度理解することができた C あまり理解できなかった D 理解できなかった	C・D判定が15%以上 で日程・内容を検討 する。	PTA役員への アンケートを実施 する。

重点目標	具体的取組	主担当	現 状	評 価 観 点	実現状況の達成度判断基準	判定基準	備 考
4 生徒会活動のより活発化を目指し、自治的な取り組みを充実させ、自主・自律・協調の精神を育成し、心身の健全な発達を求める。	① 生徒自身が活動をととして、人間関係の構築や学習意欲、また自己肯定感や連帯感の育成に役立っている。各部部員数の飽和状態にあるが、意義の求め活動の充実・向上を図る。	生徒会 第1学年 学年	活動の高い充実度を感じるが、競 技力だけを求めず、育てることを 見失わないよう目を配り、最後ま でやり遂げる意義を伝えていき たい。	【満足度指数】 生徒達が部活動運営 や方針に対し充実感を 抱き、満足しているか どうか。	指導方針や活動内容に充実感を抱き A とても満足している B まあまあ満足している C あまり満足していない D 満足していない E 所属しているが参加していない F 所属していない	C・D評価が10%以上 において指導体制を 検討する。	生徒に対して アンケートを実施 する。
	② 生徒一人ひとりの生徒会活動 への参画意識を高め、生徒達 自らの意見を十分に取り入れた 活動を行っている。	生徒会 学年	執行部を中心に主体的に活動 している。生徒と教職員との信頼 関係が見られ、活動はとて有意 義なものとなっている。	【成果指標】 生徒自身が自主的且つ 主体的に協議し、意思 決定実施しているか。	生徒会行事に積極的に参加し楽しめましたか？ A 積極的に参加し楽しめた B まあまあ参加し楽しめた C あまり参加できず楽しめなかった D 参加できずに楽しめなかった	C・D評価が30%以上 において活動のあり方 を検討する。	生徒に対して アンケートを実施 する。
	③ 公安・保健委員会による挨拶運 動や交通安全啓発活動としての 呼びかけなど、生徒達自ら行動 に繋げられるよう働きかける。	生徒会	社会全般に「ながら使用」による 問題が発生している。自己自制や 社会規範を身につけられるよう 現状を見極め、先見の注意喚起の 指導で促す。	【努力指標】 集団や社会の一員とし て、ルール・マナーやモ ラルが身についている か。	自己自制や社会規範の定着度が A きちんとできている B まあまあできている C あまりできていない D できていない	C・D評価が30%以上 において活動のあり方 を検討する。	生徒に対して アンケートを実施 する。
	④ 鑑賞や創作を通して情操陶冶と 健やかな人間形成に役立てる。	生徒会 国語科	今年度は高文連鑑賞が中止とは なったが、短歌・俳句大会におい ては国語科事前指導 とって、個々 の感性が見られる、豊かな作品を 期待したい。	【満足度指数】 鑑賞や創作に意欲的に 取り組めたか。	豊かな情操を育むことに A とても役立った B まあまあ役立った C あまり役立たなかった D 役立たなかった	C・D評価が25%以上 において活動のあり方 を検討する。	生徒に対して アンケートを実施 する。